

特性表

専用別売本体	XU90787L 逆富士40形 防雨防湿 1灯用 W150タイプ						XU90788L 逆富士40形 防雨防湿 1灯用 W230タイプ						XU90789L 逆富士40形 防雨防湿 1灯用 トラフタイプ					
	定格			節電			定格			節電			定格			節電		
出力モード	100V	200V	242V	100V	200V	242V	100V	200V	242V	100V	200V	242V	100V	200V	242V	100V	200V	242V
電圧	0.172A	0.087A	0.074A	0.121A	0.062A	0.053A	0.172A	0.087A	0.074A	0.121A	0.062A	0.053A	0.172A	0.087A	0.074A	0.121A	0.062A	0.053A
入力電流	16.9W	16.7W	17.0W	11.8W	11.8W	12.0W	16.9W	16.7W	17.0W	11.8W	11.8W	12.0W	16.9W	16.7W	17.0W	11.8W	11.8W	12.0W
定格消費電力	17VA	17VA	18VA	12VA	12VA	13VA	17VA	17VA	18VA	12VA	12VA	13VA	17VA	17VA	18VA	12VA	12VA	13VA
皮相電力	2500 lm			1780 lm			2500 lm			1780 lm			2500 lm			1780 lm		
定格光束	147.9 lm/w	149.7 lm/w	147.0 lm/w	—			147.9 lm/w	149.7 lm/w	147.0 lm/w	—			147.9 lm/w	149.7 lm/w	147.0 lm/w	—		
固有エネルギー消費効率	69台まで	42台まで	30台まで	99台まで	42台まで	30台まで	69台まで	42台まで	30台まで	99台まで	42台まで	30台まで	69台まで	42台まで	30台まで	99台まで	42台まで	30台まで
壁スイッチとの接続台数	○			—			○			—			○			—		
※グリーン購入法適合	○			—			○			—			○			—		

7					皮相電力	欄外参照	品名	LEDユニット
6	□出線(アース線)	105°C耐熱ビニル電線	1	より線 1.25mm <sup>2</sup>	入力電圧	欄外参照	型番	XE52205
5	□出線(電源入力線)	105°C耐熱ビニル電線	2	より線 0.75mm <sup>2</sup>	入力電流	欄外参照	図番	
4	電源ユニット		1		消費電力	欄外参照	適合ランプ	LED
3	端板	PBT樹脂	2		力率	高力率	W×数	16.7W×1灯
2	カバー	アクリル樹脂	1	乳白色(拡散)	質量	約1.3 kg	色・形	N色(5000K)・演色性(Ra85)
1	取付金具	鋼板 t1.0	2	亜鉛めっき鋼板	特記事項		承認	審査
部番	部品名	材質	数	備考			光澤	西井
								立案
								20210405

単位: mm 第三角法(JIS A4)

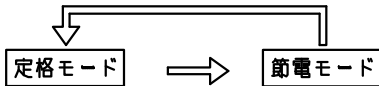
コイズミ照明株式会社

使用に関するご注意	⚠安全に関するご注意
<p>1. 壁スイッチ操作により、点灯モード（定格光束）を定格モード・節電モードの2段階に切替が可能です。出荷時は定格モードに設定しています。</p> <p>2. LEDにはバラツキがある為、器具内の個々のLEDや同一形名の器具でも発光色、明るさが異なる場合があります。予めご了承ください。</p> <p>3. LED光源のみの交換はできません。LEDユニットごとと交換してください。</p> <p>4. 点灯または消灯後にピシッピシと音がする場合があります。材料または部品の特長により起こる摩擦音で器具の異常ではありません。</p> <p>5. 壁面や床面等への照射距離が近い場合や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。予めご了承ください。</p> <p>6. 温泉地など、硫黄成分を含む腐食性ガスが発生する場所では使用しないでください。光学特性に不具合が発生する原因となります。</p> <p>7. 粉じん（天井内含む）・油煙のある場所では使用しないでください。光学特性が低下する原因となります。</p> <p>8. 半導体スイッチ式人感センサスイッチとの組合せはできません。リレー接点式人感センサスイッチを使用してください。</p> <p>9. 電源スイッチに片切スイッチを使用する場合、片切スイッチを電源の高圧側に設置してください。200V電源を使用する場合は両切スイッチを使用してください。消灯時に微発光する原因となります。</p> <p>10. 使用周波数が数百kHzの誘導無線（同時通訳システム）及び数百MHzの空間波無線の場合、雑音が入ることがありますので事前確認することをおすすめします。100V電源の場合には、接地工事することにより低減できる場合があります。</p> <p>11. 防犯カメラ等を使用する場合は、フリッカー対策仕様のカメラを使用してください。</p> <p>12. 電源事情のわるい場所ではLEDがちらつく場合があります。</p> <p>13. 防水を目的に使用しているゴムパッキンは、使用環境によって劣化が早まり、防水性能が低下する場合がありますので、定期的な点検をおすすめします。</p> <p>14. 固形物および水の侵入に対する保護等級はIP23です。</p> <p>15. 定格光束は、器具本体との組合せで変わります。</p>	<p>1. LEDユニットを単体で使用しないでください。必ず適合の防雨・防湿形の器具本体との組合せで使用してください。落下・感電・火災の原因となります。</p> <p>2. 防雨・防湿形器具です。軒下等の雨線内で使用できます。サウナなど高温・高湿になる場所では使用しないでください。また、背面より水がかかる場所には取付けないでください。過熱による火災、絶縁不良による感電の原因となります。</p> <p>3. 腐食性ガスが発生する場所、屋内プールなどの塩素雰囲気さらされる場所、油煙のある場所では使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。</p> <p>4. 振動の激しい場所、常時振動のある場所、衝撃の加わるおそれのある場所では使用しないでください。落下の原因となります。</p> <p>5. 周囲温度は-10～35℃の範囲で使用してください。</p> <p>6. 風速60m/sを超える強風の吹くおそれのある場所では使用しないでください。落下の原因となります。</p> <p>7. 直射日光の当たる場所では使用しないでください。変色・変形、過熱による火災の原因となります。</p> <p>8. 定格電圧以外では使用しないでください。過熱による火災の原因となります。</p> <p>9. 電源線、アース線は確実に接続してください。アース線の接続が不完全な場合、感電の原因となります。電源線は口出し線式です。口出し線と電源線との接続は電気設備の技術基準省令7条に従い、圧着端子、スリーブ等を用いて確実に行ってください。接続部は自己融着絶縁テープ等で防水性のある絶縁被覆処理を確実に施してください。不十分な場合、絶縁不良による漏電、感電の原因となります。</p> <p>10. 点灯中や消灯直後は、高温のため器具に触れないでください。やけどの原因となります。</p> <p>11. LED光源を長時間直視すると目を痛める原因となります。</p> <p>12. 周囲環境・温度・湿度によってカバー内部に結露が発生する場合がありますが、この結露が品質に影響を与えることはありません。</p>

本器具は、壁スイッチ操作により点灯モード(定格光束)の切替が可能です。  
 定格モード(定格光束)  
 節電モード(定格光束の約 70%)

1 点灯モードの設定

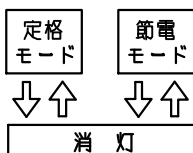
- ・出荷時は定格モードに設定しています。
- ・点灯モードの設定を切替える場合は、消灯状態で壁スイッチの ON-OFF 操作を 3 回繰り返してください。
- ・壁スイッチ操作は、ON(1~2秒)-OFF(1~2秒)の間で行ってください。
- ・ON-OFF 操作を 3 回繰り返した後は、最後の OFF から、2 秒以内に電源を ON(4 回目)にして、5 秒以上点灯させてください。



- ・点灯モード切替完了のお知らせ  
(ON-OFF 操作の直後のみ、明るさの変化によりお知らせします。)  
 定格モード切替: 明るさが 1 回変化します。  
 節電モード切替: 明るさが 2 回変化します。

2 メモリー機能

- ・消灯しても消灯前の点灯モードを記憶しています。
- ・再点灯後は、消灯前の点灯モードで点灯します。



3 点灯モードのリセット

- ・器具内の点灯モードが揃わない場合は、一度リセットを実施してください。
- ・リセットを実施する場合は、消灯状態で壁スイッチの ON-OFF 操作を 4 回繰り返してください。
- ・いずれの点灯モードからも定格モードへリセットされます。
- ・壁スイッチ操作は、ON(1~2秒)-OFF(1~2秒)の間で行ってください。
- ・ON-OFF 操作を 4 回繰り返した後は、最後の OFF から 2 秒以内に電源を ON(5 回目)にして、5 秒以上点灯させてください。
- ・リセット操作後に明るさが 1 回変化すればリセット完了となり定格モードでの点灯状態を維持します。

4 点灯モードの確認

- ・点灯モードの確認をする場合は、消灯状態で壁スイッチの ON-OFF 操作を 2 回繰り返してください。
- ・壁スイッチ操作は、ON(1~2秒)-OFF(1~2秒)の間で行ってください。
- ・ON-OFF 操作を 2 回繰り返した後は、最後の OFF から 2 秒以内に電源を ON(3 回目)にして、5 秒以上点灯させてください。

- ・点灯モード確認完了のお知らせ  
(ON-OFF 操作の直後のみ、明るさの変化によりお知らせします。)  
 定格モード切替: 明るさが 1 回変化します。  
 節電モード切替: 明るさが 2 回変化します。